

2016 年度における大学連携講座の進め方について

1. 今年度講座の評価

受講生及び指導教員からは、金融経済の基礎知識や社会に出て役立つ生活スキルの習得に繋がったとして、総じて高い評価を頂いた。もともと、受講生の感想レポートや理解度テストの結果等から、いくつかの課題も発見できた。大きなものは次の2点。

- ①基本的な知識に対する理解度と定着度を上げる必要がある。
- ②習得した知識の生活場面に応じた活用力を上げる必要がある。

2. 講座運営方法の一部見直しと具体的な見直し案は2～3頁

- ①基本的な知識や考え方について、より時間をかけて丁寧に教える。
 - 各回の講義内容を再点検したうえで、より効果的な講義順序や時間配分を行う。
- ②習得した基礎知識等を生活場面に応じて柔軟に活用できる力を養うためのトレーニングを行う。
 - 生活場面を的確に分析・評価できるようにする観点から、金融経済に関する知識（インフレ・デフレ、金利や為替の変動等）をより纏まった形で教えるとともに、質疑応答、グループ討議など受講生参加型の授業法を一段と活用する。

3. 2016 年度開講大学

	前 期	後 期
2015 年度… 5 大学	青山学院大学、東京家政学院大学、金沢星稜大学、 県立広島大学	神戸国際大学
2016 年度… 6 大学 (ほか 1 校と調整中)	青山学院大学、東京家政学院大学、県立広島大学	金沢星稜大学、神戸国際大学、 <u>東北学院大学</u>

今年度の課題を踏まえた標準講義の見直しの方向性

課 題	具体的な見直しの方向性
① 基本的な知識に対する理解度と定着度を上げる	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 標準コマ組みを見直し、生活設計関連の講義（FP協会担当）を増枠する一方、トラブル対応講義の2コマを1コマに集約する。 <ul style="list-style-type: none"> —— 今年度は、「金融商品トラブル」と「金融商品以外のトラブル（悪徳商法等）」とに分けて2コマ設けたが、1コマで講義する。なお、具体的な講義内容については担当教授の関心に応じて選定する。 ➤ 各講義の内容をより精選し、受講生の立場からみてより重要と考えられる内容の説明に時間を配分する。併せて、講義間での役割分担をより明確化する観点から、一部内容の移管を行う。 <ul style="list-style-type: none"> —— 例えば、金融商品の特徴点を理解させるための法的裏付けや商品開発の経緯等に関する説明は、個々に重要性を判断したうえで割愛または簡素化するなどの工夫を行う。 —— また、少子高齢化の現状や金融経済環境の変化など「総論的・共通的な」内容については、講座前半の講義で集約的に説明し、資産形成、保険など各論での扱いを簡素化する。 —— 家計管理・生活設計に関する内容を担当する金広委、FP協会、全銀協の3団体間での役割分担を明確化。
② 習得した知識の生活場面に応じた活用力を上げる	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 金融経済情勢の変化とそれが個人の生活に及ぼす影響について、ある程度纏まった知識を教える。 <ul style="list-style-type: none"> —— ライフイベントの発生のみならず、金融経済環境の変化も「生活場面の变化」の一態様と捉え、金融経済の知識と生活スキルを総合して判断できる力の涵養を目指す。 ➤ 各講義において、重要事項に関する知識や考え方を活用する力を高めるトレーニングとして、質疑応答、クイズ、グループ討議など受講生参加型の授業方法をより積極的に活用する（受講生の数や教室の形態等を踏まえた対応を工夫）。

今回の見直し内容を反映させた標準コマ組み

	標準コマ組み	<シャド一部分が主な見直し箇所>	2015 年度コマ組み
第 1 回	導入—金融教育の重要性 <金融庁> (生活を取り巻く社会経済環境、金融リテラシーの意義・重要性、本講座の構成など)		導入—金融教育の重要性 <金融庁>
第 2 回	人生とお金 <金広委> (人生にかかるお金の意味、ライフデザインの重要性、機会費用、奨学金制度など)		人生とお金 <金広委>
第 3 回	お金を稼ぐ <金広委> (職業選択の意義、正規・非正規雇用の賃金カーブ、給与明細の見方、社会保障制度、収支管理の基本など)		ライフプランを描く① <FP協会>
第 4 回	お金と経済 <金広委> (金融の基礎、経済変動(物価・金利・為替)と生活への影響、単利・複利、自己責任、リスクとリターンなど)		お金を稼ぐ <金広委>
第 5 回	ライフプランを描く① <FP協会> (ライフイベント、老後に必要な資金、人生の3大資金と準備方法など)		お金を管理する① <金広委>
第 6 回	ライフプランを描く② <FP協会> (キャッシュフロー表の作成演習と指導など) ⇒ 持ち帰り課題とし、後日提出させる		お金を管理する② <全銀協>
第 7 回	お金を借りる① <全銀協> (各種カード・ローンの特徴、生活設計に即した借入れと計画的な返済、連帯保証・抵当権など)		お金を借りる <全銀協>
第 8 回	お金を借りる② <全銀協> (住宅ローンの仕組み、金利環境と選び方、生活設計に即した借入れと計画的な返済など)		お金をふやす① <日証協>
第 9 回	お金をふやす① <日証協> (貯蓄や投資の意義、金融商品の特徴とリスク・リターン、長期投資の重要性など)		お金をふやす② <投信協>
第 10 回	お金をふやす② <投信協> (投資信託の仕組みと特徴、分散投資の重要性など)		リスクに備える① <生保文化センター>
第 11 回	リスクに備える① <生保文化センター> (人生におけるリスクと保険の役割、公的保険と民間保険の関係、人生設計と保険の活用法など)		リスクに備える② <損保協>
第 12 回	リスクに備える② <損保協> (生活の中でのリスクと保険の役割、公的保険と民間保険の関係、損害保険の活用法など)		トラブルに強くなる① <金融庁>
第 13 回	トラブルに強くなる <消費生活センターまたは金融庁> (学生や若手社会人が陥り易い悪徳商法・金融商品詐欺、トラブル事例から得られる教訓と予防策など)		トラブルに強くなる② <消費生活センター>
第 14 回	ライフプランを描く③ <FP協会> (第6回で作成したキャッシュフロー表の見直し、習得した知見やノウハウの確認など)		ライフプランを描く② <FP協会>
第 15 回	全体総括 <金広委または金融庁> (講義の中で生じた疑問・質問とそれへの回答、講義に対する感想発表など)		全体総括 <金融庁、金広委>

以上